

精神障害者への 支援実践例紹介

当事者研究会

精神障害者に対する地域支援システムを実践、紹介しようという催しが6日、帯広のおおえメンタルクリニックゆう（西5南12）であった。米ウィスコンシン州マディソン市から来訪中の専門家も参加し、当事者が自身の事例を元に実践的なトレーニングを行った。

地元の精神障害者らでつくる十勝当事者研究会の主催。十勝のほか、札幌や日



精神障害者に対する地域支援システムの活動を紹介するマディソン市の一行ら

高管内浦河町などから福祉関係者ら約70人が参加した。グループミーティングの中で、自閉症の男性が家族との関係に困惑していることを紹介。家族の間で怒りをぶつけあってしまう悩みなどを語った。

この事例を題材に、周囲とのコミュニケーションをロールプレイによる実践訓練も行った。スマートフォンを返してくれない6歳のおいに、「返さないと怒るよ」などと言葉を選び、意志を伝える方法を実践した。会場からは「感情を爆発させずに伝えていた」「相手の目をみて話していた」などと評価する声が出た。

帯広の姉妹都市マディソン市で精神障害者が治療やリハビリ、社会参加をしながら地域で暮らすことを支援するNPOの専門家や当事者が現地での取り組みを紹介した。（山本孝人）

＋ 病院

（9日）内科・小児科系夜間救急当番医 ◇帯広（午後7